入学願書・調査書記入上の留意事項

宮城県立古川支援学校

《入学願書》

1　入学願書は本人及び保護者（保証人）が記入する。ただし、本人が記入できない場合は、保護者（保証人）が記入する。
2　氏名等については、戸籍の原本どおりに記入する。
3　保護者欄には、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入する。
4　特別支援学級種別は、知的、自閉・情緒、病弱等と書く。（通常学級の場合は、通常と書く）
5　出身学校欄の「昭和・平成・令和」及び「卒業見込・卒業」については、該当する文字を〇で囲む。
6　保護者の現住所が本人の現住所と同じである場合は、「本人に同じ」と記入する。
7　誤記を訂正する際は、記載者が訂正箇所を二重線で消す。

《調査書》

◆記入上の全般的留意事項

1　調査書には令和８年１１月３０日までの事項を記入する。
2　数字は、すべて算用数字を用いる。
3　誤記を訂正する際は、記載責任者が訂正箇所を二重線で消す。
4　「卒業見込・卒業」と「昭和・平成・令和」については、該当する文字を□で囲む。
5　該当する事項がない欄は斜線を引く。
6　「有・無」については、該当する文字を□で囲む。

◆各欄記入上の留意事項

1　「志願者」の欄について

（１）「中学校卒業等」は、学校名を記入し、通常の学級・特別支援学級の該当する文字を□で囲む。特別支援学級の場合は、（　）内にその種別を記入する。ただし、古川支援学校中学部を卒業又は卒業見込の者については、通常の学級・特別支援学級の部分に二重線を引く。

2　「障害の状況」の欄について

（１）「障害名」は、知的障害、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の５つの中から該当するものを□で囲む。複数該当する場合は、該当する項目すべてを□で囲む。
（２）「疾病名等」は、（１）で示した５つの障害以外の疾病等（自閉スペクトラム症、ダウン症候群、てんかん等）がある場合に記入する。
（３）「障害者手帳等」は、該当するものすべてに☑をする。療育手帳については、ＡかＢの該当するものを□で囲む。身体障害者手帳については、等級や種別を記入する。また、次の更新年月や有期認定期限についても記入する。
（４）「発作等」は、てんかん発作等が頻発するものについては、その頻度を記入する。
（例）一日に２～３回、一年に数回程度等
（５）「服薬」は、服薬がある場合は「抗てんかん薬」のように何の薬か分かるように記入する。
（６）「配慮事項その他」には、普段の学校生活で配慮が必要なことがあれば記入する。入学者選考の検査当日における配慮が必要な場合は、宮城県教育委員会のＨＰから、受検上の配慮申請書（様式第８号－１）をダウンロードして作成し、出願時に合わせて提出する。

3　「指導上参考となる諸事項」の欄について

（１）「学習面」の欄については、学習の取組の様子や変容を記入する。
（２）「生活面」の欄は、本人の様子や今後の指導に参考になる事項について記入する。
（３）「社会性　コミュニケーション」の欄については、対人関係やコミュニケーション、公共交通機関の利用等、今後の指導に参考になる事項について記入する。
（４）「総合所見」の欄は、本校高等部への入学を希望している理由等について記入する。

《その他》

出願者一覧表・入学願書・調査書は、本校のＨＰ（https://furuyou.myswan.ed.jp）よりダウンロードして、Ａ４の書式で作成して提出すること。